

大河原町の地域学校協働活動

1 今年度の事業への取組について

大河原町教育委員会では、子供を地域全体で育むために、家庭・地域・学校をつなぐ仕組みをつくり、協働による教育活動を通じ、家庭・地域の教育力向上を目指す「地域学校協働活動」を推進している。

2 地域学校協働本部について

大河原町地域学校協働本部にて協働教育に関する組織的な目標及びビジョンの共有を図り、多くの地域住民や団体等の参画、活動のネットワーク化に繋げていくとともに、町内小中学校の学校運営協議会との連携を図っていく。

3 事業紹介

(1) 家庭教育支援

事業名	内 容	備 考
子育て親育ち講座	<p>保護者または親子が集まる機会に、子供とのふれあい活動や、講話などを通して家庭の教育力向上を図り、子育て親育ちの一助とする。</p> <p>内容：幼児と楽しむふれあい体操、メディアとのつきあい方講座、親子防犯教室 他</p>	<p>会場：保育園・幼稚園 児童厚生施設及び小・中学校等</p> <p>対象：幼児・児童・生徒及び保護者又は保護者のみ</p> <p>参加者：全 16 講座（中止 3 講座） 延べ 861 名</p>
子育てサポーター養成講座	<p>子育て支援を行う「子育てサポーター」の養成を通し、家庭教育や子育てに悩む親を地域全体で支援する環境づくりと社会意識の醸成につなげる。</p>	<p>会場：大河原町中央公民館</p> <p>回数：3 回</p> <p>参加者：延べ 33 名、修了者 2 名</p>
夏休み親子手作り絵本教室	<p>世界で一つの絵本作りを体験し、子供たちの創造性と想像力を育み、本への愛着や親しみを深める。</p>	<p>期日：8 月 4 日・6 日・7 日</p> <p>会場：大河原町中央公民館</p> <p>対象：幼児及び小学生、保護者</p> <p>参加者：12 名（8 組）</p>



子育て親育ち講座



子育てサポーター養成講座



夏休み親子手作り絵本教室

(2) 地域活動支援

事業名	内容	備考
ジュニア・リーダー事業・研修会	<p>中高生を対象に、地区子ども会活動の支援や地域活動を行うリーダーとして、様々な知識や技術の習得を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定例会（月1回） ・初級・中級・上級研修会 ・地区子ども会、親子会、児童厚生施設等への派遣 ・自主企画イベントの開催 	<p>在籍数：高校生 6名 中学生 5名 小学生 7名 計 18名</p> <p>活動場所：中央公民館</p>
チャレンジキャンプ蔵王！！（インリーダー研修会）	<p>地区子ども会活動の中心的役割を担う小学4・5・6年生を対象に、他校間の交流や野外活動等を通じ、子供の自主性・主体性を養い、子ども会の良きリーダーとしての知識や技術の習得を目指す。</p>	<p>対象：小学4～6年生 参加者：32名 児童 22名 JL 10名</p>
青年会支援事業	<p>小学生親子を対象としたイベント企画の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東の寺deきもだめし 	<p>参加者：親子14組</p>



ジュニア・リーダーと遊ぼう会



ジュニア・リーダー初級研修会



インリーダー研修

(3) 学校教育支援

事業名	内容	備考
職場体験	<p>町内各事業所への連絡調整を図り、取りまとめを行う。</p>	<p>対象：大河原中学校 金ヶ瀬中学校 2年生</p>
中学生子育て理解講座	<p>家庭科の学習支援として、町保健師による講義や指導のもと、沐浴人形を使用したおむつ替え体験や妊婦シミュレーターを装着しての妊婦体験を行う。</p>	<p>対象：大河原中学校 金ヶ瀬中学校 3年生</p>

事業名	内 容	備 考
学校支援 ボランティア事業	町内小中学校からの支援要請に応じ、学校支援ボランティアを派遣する。 ○1年生お世話し隊（下校見守り、給食支援、見学・体験学習引率） ○クラブ活動支援（囲碁・将棋、家庭科、茶道） ○図書関係支援（貸出、読み聞かせ、整頓） ○環境整備支援（理科室、畑整地、植栽） ○音楽関係支援（ピアノ伴奏、民謡指導、琴体験） ○学習支援（裁縫指導、ミシン修理、食育、サツマイモ苗植え・収穫、昔あそび、など）	場所：大河原小学校 大河原南小学校 金ヶ瀬小学校 大河原中学校 金ヶ瀬中学校
職業人に話を聴く会	様々な分野で活動する方々の話を聴くことで、職業への関心を高め、将来の進路選択に対する意識や職業観を磨く。学校から要請のあった職業分野について、就業している方への依頼や、連絡調整等を図る。	対象：大河原中学校 金ヶ瀬中学校 1年生



中学生子育て理解講座

（４）放課後子供教室

放課後の時間を活用し、地域の様々な大人との交流や多様なプログラムを通して、地域の子供を育てる環境づくりをしている。また、「放課後子ども総合プラン」に沿った児童クラブとの連携を推進している。

事業名	内 容	備 考
大河原小学校 ほうかご寺子屋	活動内容：学習支援、講師による特別教室 （科学実験教室・レクリエーション）等	活動場所： 大河原小学校 （児童会室）

<p>大河原南小学校 放課後子供教室</p>	<p>活動内容： ACP活動、伝統文化継承活動（和太鼓演奏、かるた取り体験、けん玉体験）、野外活動、田植え体験、餅つき大会、茶道体験、百人一首体験 他 ※平成30年度より、NPO法人子ども育成支援団体キハト会へ業務委託を行っている。</p>	<p>活動場所： 大河原南小学校 (アッセンブリホール)</p>
<p>金ヶ瀬小学校 放課後子供教室</p>	<p>活動内容： 科学実験教室、七夕飾り制作、ハンドベル発表会、餅つき大会、たこあげ大会、百人一首大会、太鼓演奏、仙台大生によるレクレーション活動 他</p>	<p>活動場所： 金ヶ瀬公民館 (大集会室)</p>



大河原小学校（創作活動）



金ヶ瀬小学校（百人一首大会）



大河原南小学校（田植え体験）

4 成果と課題

○家庭教育支援事業

子育て親育ち講座や子育てサポーター養成講座、夏休み親子手作り絵本教室など各事業において多くの参加者を集め好評であった。町の家庭教育支援チームは活動20年目を迎え、現在までの活動の成果を発表する「20歳を祝う会」を開催し、関係者に活動の周知を行うことができた。引き続き新たな人材の確保を進め、現代のニーズにあった支援の形を目指していく。

○地域活動支援事業

ジュニア・リーダー事業については、宿泊による初級研修会やインリーダー研修会により様々な技術や知識を習得するとともに協調性を育む良い機会を提供できた。今後も、ジュニア・リーダーが、より責任感と自主性を養えるよう、活動の内容や進め方やなどを工夫していく。

○学校教育支援事業

学校支援ボランティア事業については、登録更新及び実状の把握に努めた。今後も各学校との連携を図り、学校側のニーズに合わせた派遣及び活動を行っていきたい。

○地域学校協働活動

大河原町地域学校協働本部立ち上げ以来、研修会や協議を通して組織的な目標及びビジョンの共有が徐々に浸透してきた。教職員や地域住民への周知活動を通して広く地域学校協働活動の推進に努める。

大河原町 大河原町立大河原小学校 放課後子供教室「ほうかご寺子屋」

- 市町名 大河原町
- 学校名 大河原町立大河原小学校
- 期 日 令和7年9月29日(月)
- 内 容 大河原町放課後子供教室
「ほうかご寺子屋」 特別教室
仙台大学レクリエーション部による活動



- コーディネーター 山本 玲 氏
- 教育活動推進員
今野、森、阿部、吉田、大泉、齋藤
- 教育活動サポーター
仙台大学レクリエーション部



○児童の声

「放課後子供教室に来てよかったことはどんなことですか。」

- ・活動やゲーム、制作などが楽しいです。
- ・友達と仲良く活動やゲーム、制作などができるからです。
- ・勉強が楽しくなりました。

○保護者の声

- ・宿題に取り組む姿勢が積極的になりました。
- ・自分で準備したり、「今日は何時帰り」と自己管理したりすることができるようになりました。
- ・月曜日の欠席が少なくなりました。休み明けは学校に行きたくない気持ちが強かったのですが、寺子屋を楽しみに登校できました。
- ・様々な遊びが知れて、遊びの幅が広がり大変良かったです。
- ・他学年との交流、年上の方への接し方を学んでいるようです。
- ・特別教室は体を動かしたり、ゲームをしたり楽しかったと聞きました。
- ・大学生のお兄さん、お姉さんと仲良くなって、一緒に放課後子供教室で過ごせることが、とても楽しみで嬉しいと話してくれています。学校へ行くことを嫌がる時もあるのですが、寺子屋は一度も嫌がることもなく、逆に楽しみにして行くのでとても助かっています。



○コーディネーターから(山本 玲)

大河原小学校放課後子供教室「ほうかご寺子屋」が宮城県協働教育推進功績団体として表彰されました。この表彰は、家庭・地域・学校をつなぐ協働教育の振興・推進に取り組み、優れた功績を収めた団体に対し贈られるものです。

大河原小学校放課後子供教室「ほうかご寺子屋」は、平成21年度から宿題や自主学習の支援、理

科実験教室やゲーム、創作活動など充実した活動を行ってきました。

学校、保護者の皆様のご理解とご協力に心より感謝いたします。



○担当職員から（社会教育指導員 小野寺 徹）

前述の児童、保護者の声からも伝わってくるように、「ほうかご寺子屋」は素晴らしい成果を上げているものと自負しております。これもひとえに学校、コーディネーター、教育活動推進員の皆さん、仙台大学レクリエーション部の皆さんが、様々な情報を共有しながら、子供たちをしっかりと支えてくださっているおかげです。

今後もスタッフ全員が心を一つにして、学校のご理解とご協力を仰ぎ、「ほうかご寺子屋」の活動を推進していきたいと思っております。



○「ほうかご寺子屋」とは？

大河原町教育委員会では、子供たちが安心して安全に活動できる「子供の居場所」をつくる事業を平成17年度から行ってきました。大河原小学校では、平成21年度から、大河原小学校「ほう

かご寺子屋」を開設しました。

この教室では、宿題や自主学習を通して、幅広い世代の大人との交流を目的としています。この活動を援助し、安全な活動を推進する役割として、教室には学校を退職された先生等が教育活動推進員として常時付き添い、子供たちの活動を見守り、ともに活動します。また、仙台大学の学生が補助役として活動に参加し、子供たちの活動をサポートします。

「ほうかご寺子屋」で異なる年代の児童と交流することで、子供たちにとってまた新しい学び・気づき生まれるきっかけになるのではないかと考えています。



○教育事務所から

放課後子供教室として、宿題や自主学習の支援、様々な体験活動をご提供いただいております。また、スタッフの皆様がそれぞれの役割を果たしながら、子供たちとのコミュニケーションをとおして、学力向上や心の発達にも寄与しておられます。日々成長していく子供たちの姿を見ることが、運営スタッフのエネルギーとなり、更なる活動の充実・発展と地域社会の活力につながっていくことを期待しております。



大河原町立大河原小学校

〒989-1241 宮城県柴田郡大河原町字町100
 電話 0224-52-3401 FAX 0224-52-3402 児童数 793名

伝統文化教育 朝の読み聞かせ 仙台大との連携



宮城県民謡「さんさ時雨」を大河原民謡協会の方々に教えていただき、音楽発表会で披露した。
 ボランティアの皆さんに絵本などの読み聞かせを行っていただき、子供たちが多くの本と出会う機会を得ることができた。
 仙台大学との連携により、最新の機材や研究成果に基づいた体育の授業実践を、大学生と共同で行った。



大河原町立金ヶ瀬小学校

自ら学び、豊かな心と創造性を持ち、たくましく生きる子どもの育成

〒989-1224 宮城県柴田郡大河原町金ヶ瀬字居掛21 児童数 191名
 電話 0224-53-1366 FAX 0224-53-4246



出前授業: 金ヶ瀬地区の山家工務店の方を迎え、日本の伝統工法「木組み」を教えていただいたり、木工細工を作成したりした。
 地域の方と小・中学校が連携して防災訓練を実施した。災害時の連携体制を強化し、地域全体で防災を共有する意識を高めた。
 伝統芸能の保存活動: 堤神楽保存会の方々の指導の基、年々引き継ぎ、金小祭等で練習の成果を発表している。



大河原町立大河原南小学校

〒989-1201 宮城県柴田郡大河原町大谷字築沼入27番地1
 TEL 0224(53)4220 Fax 0224(53)4223 全校児童数 231名

主体的・創造的に学び、心豊かで、たくましく生きる児童の育成



防災キャンプ: オヤジの会(南小 OB)主催の防災について学ぶ会を実施しました。竹からつくった器とお箸で御飯を食ったり、ドラム缶で炊いたお風呂に入ったりして、非常時に役立つ知恵を学ぶ貴重な体験となりました。
 福祉体験: 社会福祉協議会の方々と連携し、車椅子や視覚障がい体験を通して、操作の難しさや日常生活での不便さを実感しました。子どもたちは、障がいを持つ方々への理解と配慮の重要性を学びました。
 放課後子ども教室: キハト会主催の放課後学習室の一環で、餅つき会を実施しました。杵と臼を使って餅をつく体験は、子どもたちが大盛り上がり。つくした餅をみんなで味わい、手作りの美味しさを実感しました。



大河原町立大河原中学校

宮城県柴田郡大河原町字東1番地
 TEL 0224-52-3501 FAX 0224-52-3502 生徒数 571名

Ogawara junior high school



防災学習発表会: 各学年の総合的な学習の時間で学んだことやプロジェクトMASの活動などを発表し、防災への意識を高めている。
 プロジェクトMAS: 町役場の協力を得て、マイタイムラインの作成を通して、災害時に自分たちでできることを考え、学んでいる。
 小中合同安全のつどい: 児童・生徒、住民が居住地区の避難所の確認を行い、区長から地域の状況の学び、連携を促している。

大河原町立金ヶ瀬中学校

〒989-1224 宮城県柴田郡大河原町金ヶ瀬字原74
TEL : 0224-53-1369 FAX: 0224-51-1076
生徒数 100名

KANAGASE

junior high school

堤神楽学習



地域の伝統である「堤神楽」を受け継ぐ「堤神楽学習会」を毎年開催しています。地域の方を講師に太鼓、小太鼓、篠笛、演舞とも小学校から引き継ぐ素晴らしいお囃子と舞をみせました。

志集会（～活躍している高校生を招いて～）



令和6年度は常盤木学園高等学校音楽科の皆さんを招いて、志集会を開催しました。美しい演奏と共に、生徒の将来に対する決意や思いを聞くことができました。

桜に関する学習



1年生を対象に総合的な学習の時間を活用し、「桜に関する学習」を行っています。桜の手入れの方法や知識など、専門の樹木医の先生に講義を受け、活動しています。